

令和元年度 第1回スポーツ推進審議会 会議録

〔事務局〕 スポーツ課
〔開催日時〕 令和元年12月11日（水）午後7時00分～8時00分
〔開催場所〕 伊勢原市役所 2C会議室
〔出席者〕 （委員） 田中会長、平田副会長、吉川委員、増田委員、
多和田委員、大川委員、佐藤委員、竹内委員、
園山委員
（事務局） 吉川健康づくり担当部長、杉山スポーツ課長、
桐生ねんりんピック担当課長、遠藤スポーツ係長

〔公開可否〕 公開

〔傍聴人〕 0人

《審議の経過》

（資料）

- ・スポーツ基本法第35条審議事項について
- ・冬季ロードレース事業結果及び開催要項
- ・ねんりんピックかながわ2021事業概要及び基本構想冊子

（会議録）

事務局：会議の開会を宣言。規則第4条に定める会議の定足数について、委員定数12名に対して9名の出席があり、定足数を満たしていることの確認をした。

会長：あいさつ

担当部長：あいさつ

事務局：令和元年度中に体力づくり振興会及び中学校から選出されている委員に変更があったことを報告。

会長：議題（1）「令和2年度スポーツ関係団体補助金について」の説明を事務局に求めた。

事務局：議題（1）について説明。

- ・各補助金について、令和2年度の予算額を比較等を交えながら説明。
- ・地区体力づくり振興会は、6地区が減額で2地区が増額となった。6地区は体育祭が中止になったことに伴い、次年度に繰り越せる物品の金額などを差し引いて予算立てした。また、次年度は2年に一度の体育普及員の入れ替え時期にあたり、被服費が各地区へ上乘せされている。
- ・新たに「総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金」を新設した。市内の総合型地域スポーツクラブ「伊勢原ふれすぽ」を支援するためのものである。
- ・その他は特に変更なし。

委員：P1～2の資料に掲載されている補助金の名称や順番と要綱に掲載されている名称と順番が異なっているが意味はあるのか。また、「伊勢原ふれすぽ」が新たに補助団体となっているが、資料の中の要綱に団体名の記載が無いが、追加になるのか。

事務局：補助金の名称は、要綱に掲載している名称が正しいのでそちらを参照していただきたい。順番は特に意図したものではない。また、「総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金」の要綱については、現在検討中なので、現時点ではお示しできない状態となっている。

委員：繰越金額を資料の中に落とし込んでいるが、どのような意味か。例えばゴルフ協会は377千円で繰越額が0となっており、これが何を意味しているかお聞きしたい。

事務局：補助金がどれくらい使われているかを示している。ただ、繰越金を多く残しているからといって活動していないわけではなく、他の団体は補助金以外にも収入があるので、繰越金が発生している。ゴルフ協会は、ゴルフ大会を377千円の中だけで実施をしている為、繰越が無かった状況。

委員：体力づくり振興会の補助金が、体育祭の中止によって差し引かれている。その意図は何か、他の補助金や交付金ではあまりないことなので確認したい。

事務局：体育祭の費用に関しては、体育祭に関わる費用のすべてを差し引いているわけではなく、景品など次年度へ持越しできる分の金額だけ差し引いている。以前から体育祭が中止になったときは、同様の対応をさせて頂いている。

委員：端的に言えば予算措置上の、経費削減ということで了解した。

会長：議題（1）「令和2年度スポーツ関係団体補助金について」承認を求める採決。

委員：全員賛成

事務局：議事進行協力のお礼

事務局：その他として以下の事項について説明。

- ・冬季ロードレース事業の開催について。市民走れ走れ大会開催結果の報告及び伊勢原駅伝大会、大山登山マラソン大会の開催概要や申込み状況について説明。
- ・ねんりんピックかながわについて。事業概要及び伊勢原市に関連する事項を説明。

委員：大会に出たい人は予選などは必要なのか。

事務局：基本的に、予選や選考会等を経て参加して頂く。ただし、各都道府県によって選考方法が違ったり、同じ人が2年連続で出られないなどの大会規則もあり、主催者は選考に苦慮している部分もあるようだ。

委員：参加チーム数が70チームとあり、都道府県数とあわないが。

事務局：政令市は主催となるため、県とは別に参加枠があったり、東京が2チーム出たりするので、チーム数は多くなる。

事務局：次回の審議会について

- ・3月1日に表彰が行われるスポーツ表彰の候補者または候補団体の決定審査をスポーツ推進審議会が行うことになっているので、1月下旬から2月上旬ごろに第2回の審議会を開催したいのでご承知おきください。

副会長：閉会のあいさつ

以上